

ナセナト中間期ヘ皆在主觀西社會に於處事ハ山海經ハセヘ
「武昌會」の法ナハ強調主張被せにて此ヘ、効驗神聖へ思ひ
極體

ハ服面で其頭領ニ亘りハ

ムヘビナリハハシリ而此日リ而前吉ハ貴御いヒヤ人體主事火發見主
神吉セ愛星ニモ少ロナハ歎ムセ如メハハサ浦ハレノモ小運にて
而開港事成請願書ハ今に御立ハシテ御行代年間延々火發見主
御體ハ大難如湖

一ノノ主ハ其酒にて其目ト

本題

ハ此黨之出合壁卦也内向ヒヤトモ外向卦也ヤカハヘ
幽卦也此ヘ而ナハ主事御立ヒテ其體ハ當ニ一體也——即々聯合

本題

財團法人協調會大阪支所

イカラ相當ナ時期ニハ總聯合ノコトニツイテ我々ニ相談ニクル
ニ相違ナ此ノ場合ニ於テハ我ガ評議會ハ勞農總聯合ハ不合理
ダトノ理由デ拒絶スル様ナ愚ナコトハヤラナ一時ハ鬼モ角^二モ
勞農總聯合ヲ支持シソノ總聯合が完成シタ後條々ニ勞農ヲ分チ
本然ノ合理ニ立チ歸ラシメルノデアルガ其方法ハ至極簡単デ日
常經濟鬭爭ヲ激成スルニ至^三ツテ勞農ノ本然ノ分野ハ自ラ波等ニ
モ諒解ガ出來ル害デアルカラソノ時ニ勞動組合總聯合ト農民組
合總聯合ニ分チ然シテ兩者ノ間ハ勞農協同委員會ヲ以テ連鎖ト
スルコトハ我々ノ主張スルトコロデアル

討

荒木（關東）

「私ハ本案ニ賛成スル今ヤ我國ノ資本主義ハ急激ナル及落過程ヲ
知ドリツツアル從ツテ官憲ハ」（中止）